

リュツォ・ホルム湾の海氷状況について

2022年10月

国立極地研究所 南極観測センター

第63次越冬隊および国立極地研究所は、越冬期間中や第64次隊夏期の行動計画の参考とするため、衛星画像や昭和基地における目視・気象・潮汐観測によって、「しらせ」航路周辺や基地接岸点付近の海氷状況を監視している。

昨年2021年の氷状

- 湾内で広域におよぶ開水面や割れ込みは発生せず、オングル海峡定着氷は安定していた。

2022年1～10月中旬の氷状

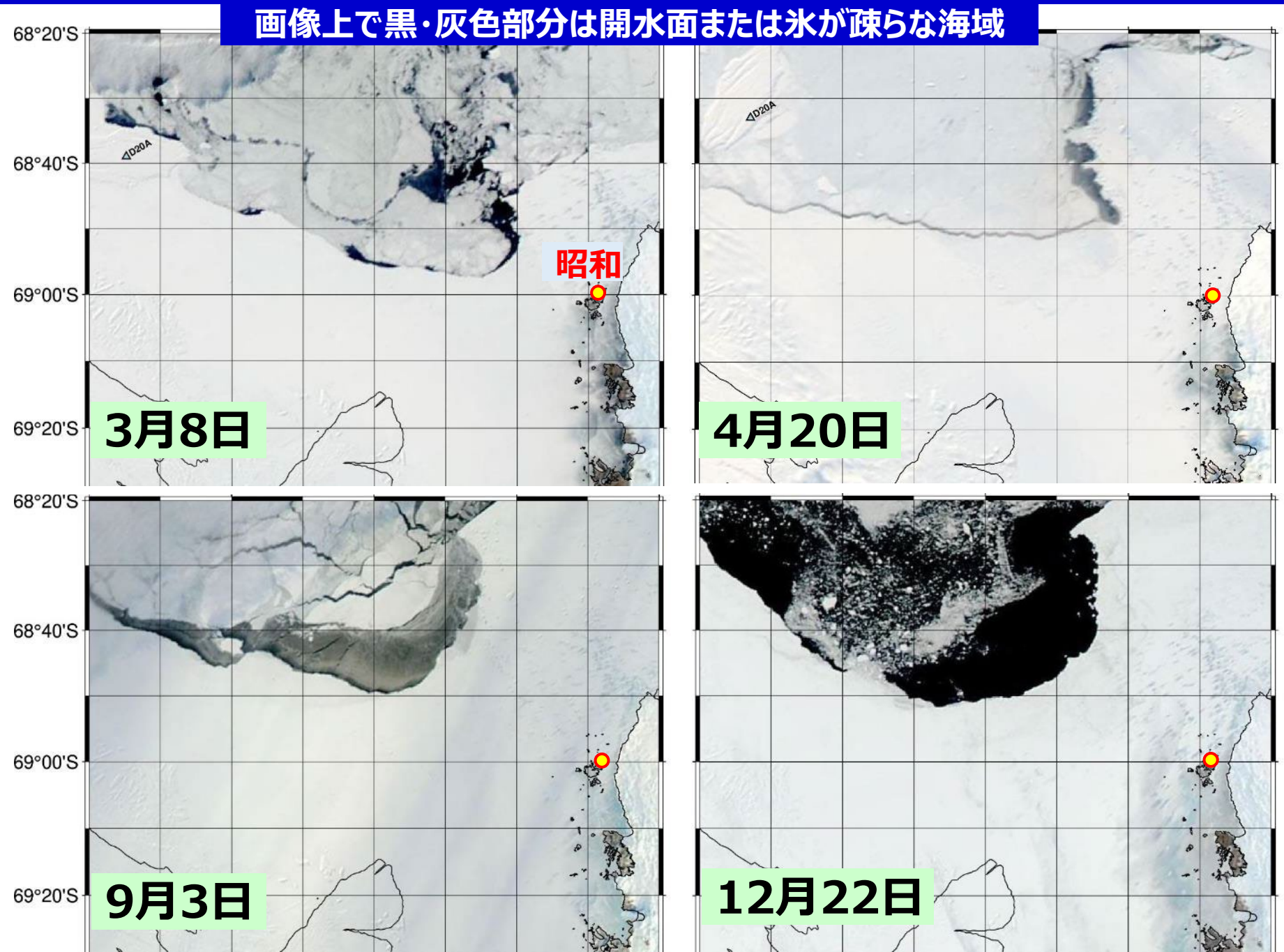
- 湾内で4月下旬、定着氷域の割れ込みが広く発生し、昨年の「しらせ」航路に当たる弁天島周辺の多年氷域が崩壊。以降、凍結と流出を繰り返している。
- 湾内定着氷域で割れ込んだ領域は広がっていないが、硬く凍結しておらず、68°50'S付近まで不安定な状態にあると推測（8～10月の衛星画像参照）。
- 海峡の定着氷は10月中旬時点で安定している。

今後の現地氷状調査

「しらせ」接岸予定付近の氷厚、積雪深が第63次越冬隊によって計測される。

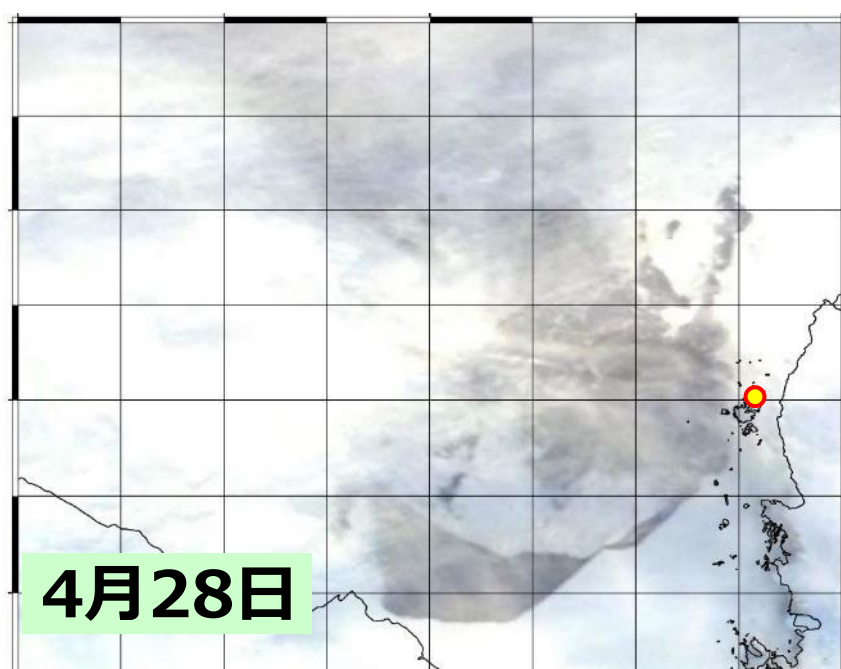
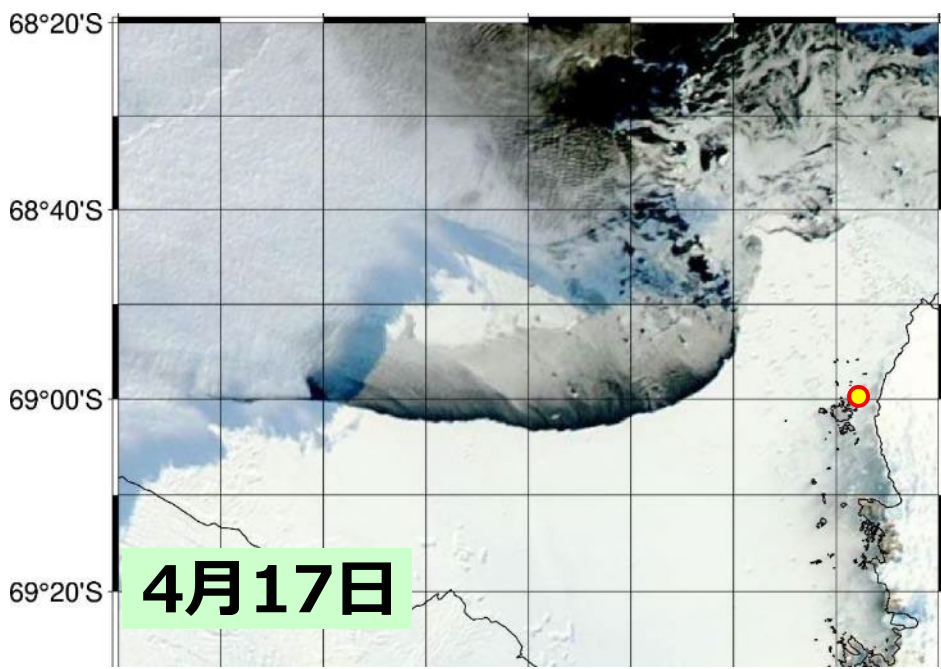
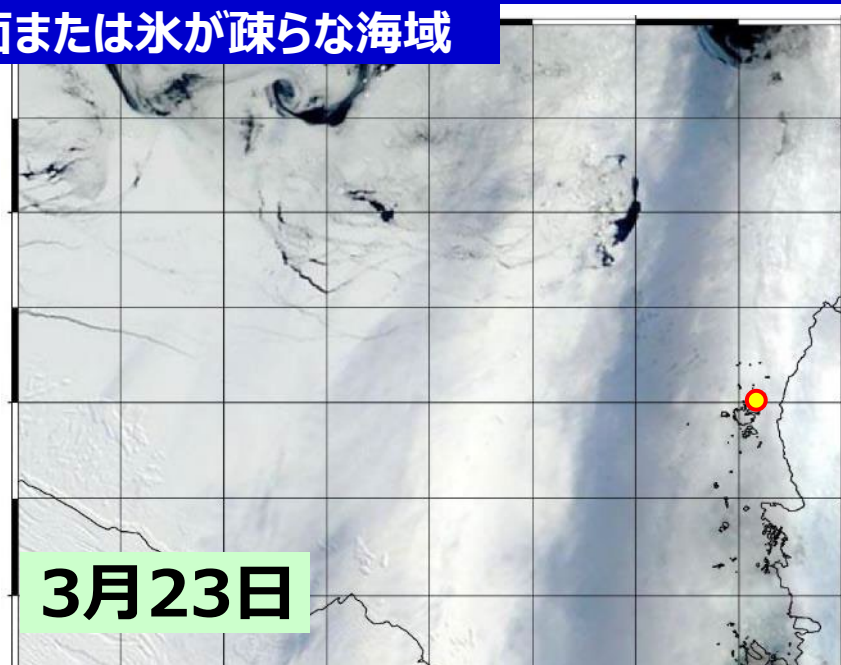
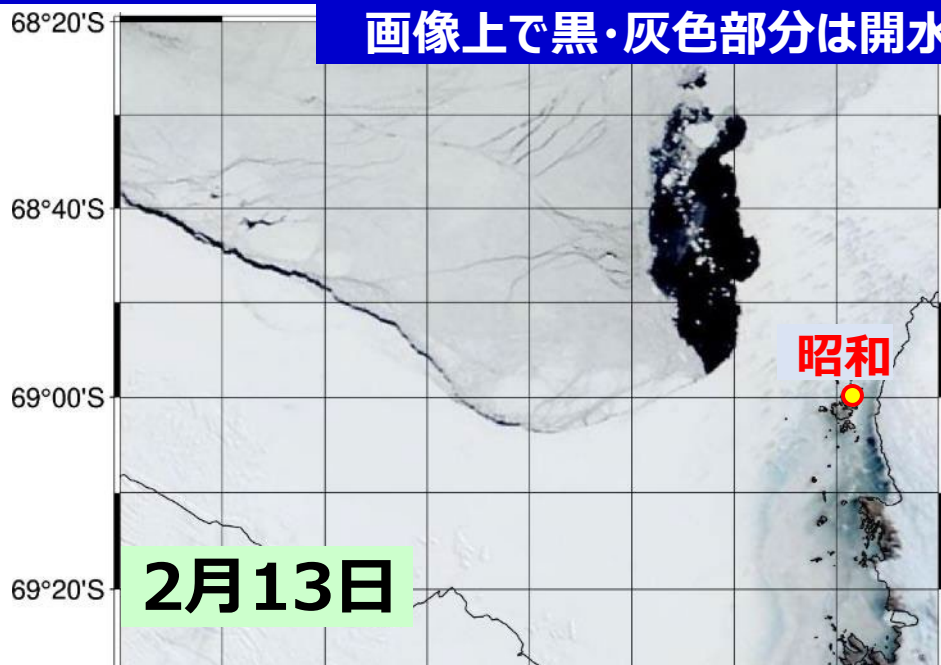
昨年2021年の湾内定着氷の変化

画像上で黒・灰色部分は開水面または氷が疎らな海域

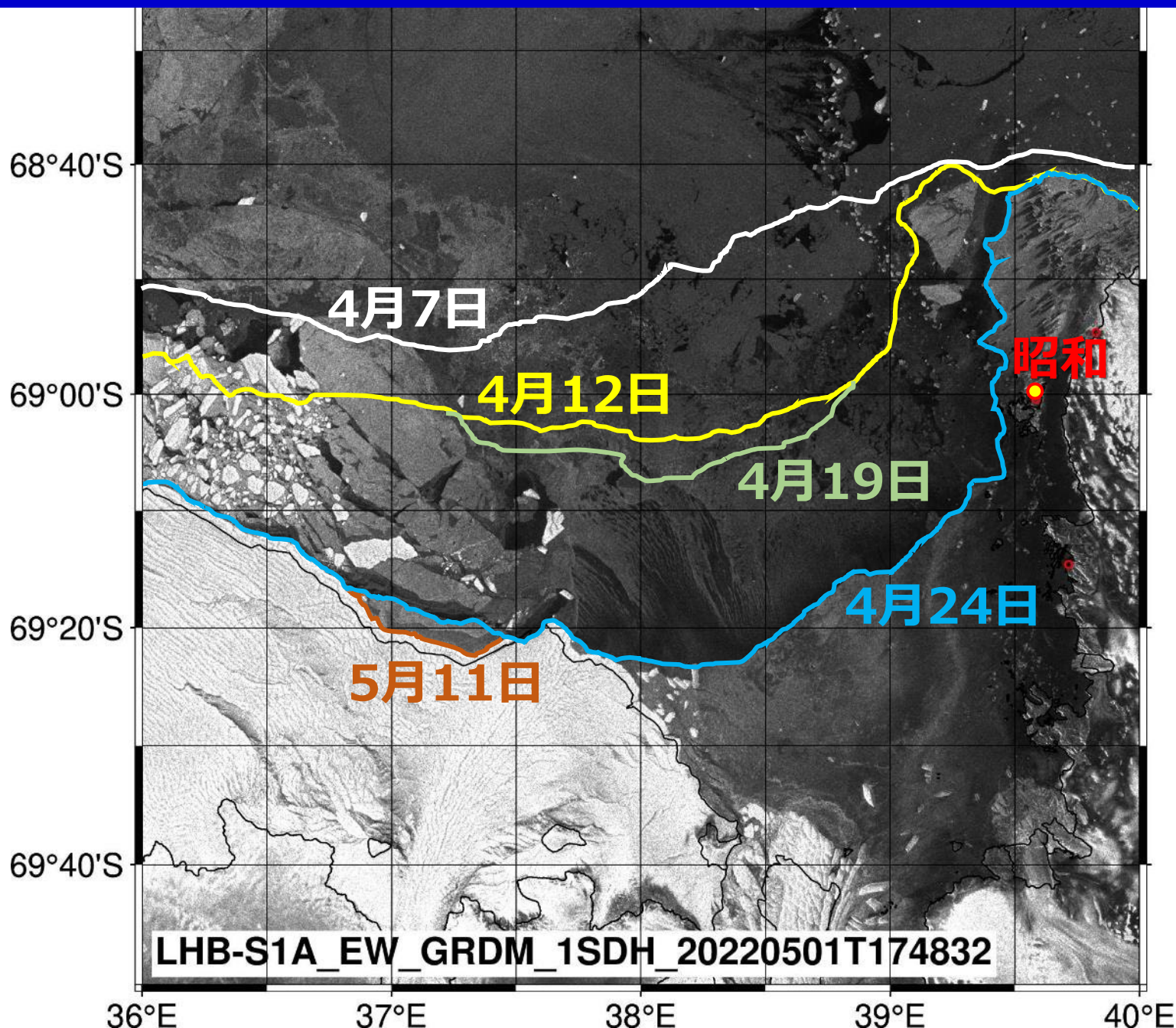


2022年2-4月の湾内定着氷の変化

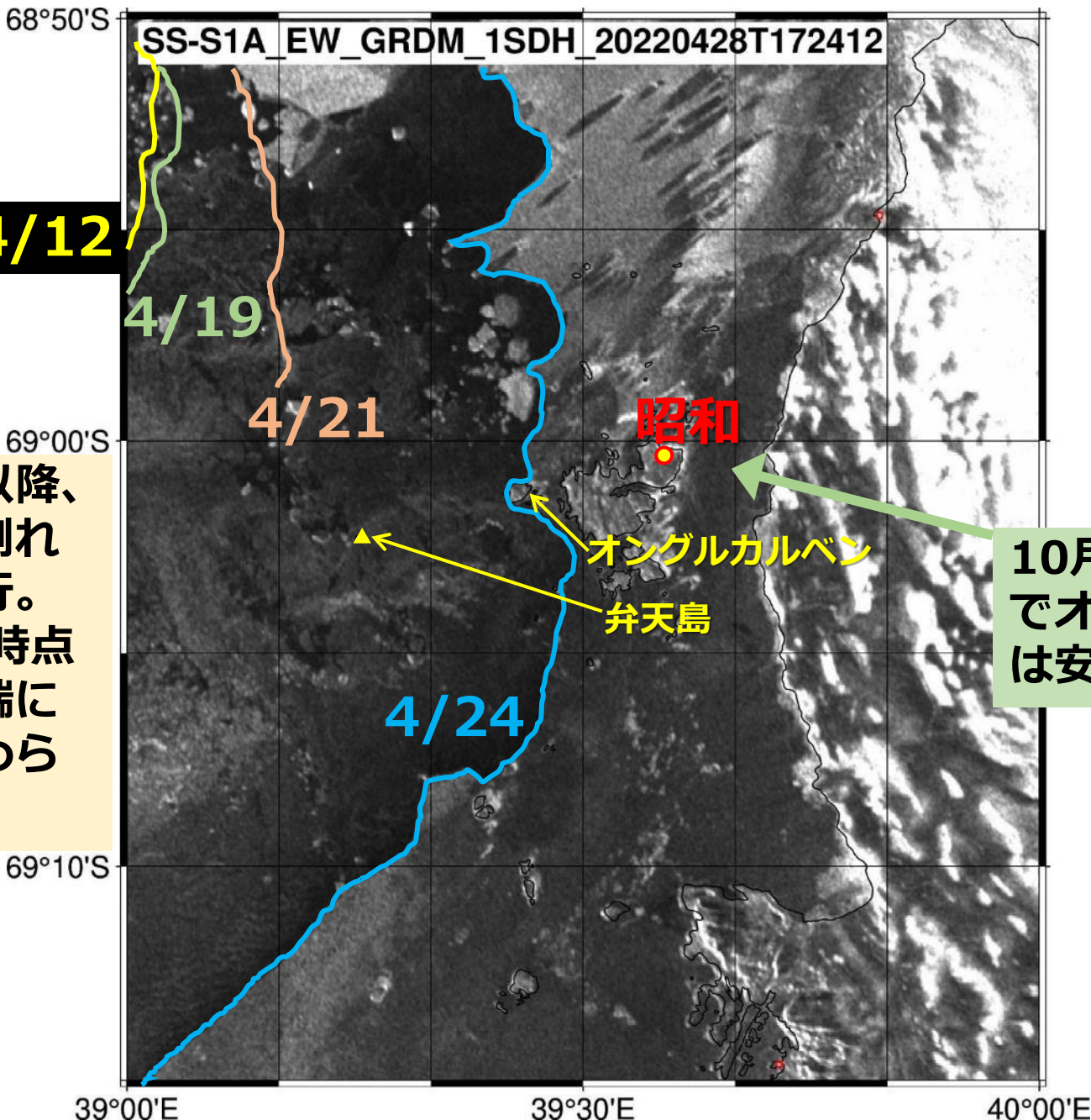
画像上で黒・灰色部分は開水面または氷が疎らな海域



2022年4-5月の湾内定着氷縁 (合成開口レーダー画像)



2022年4月の昭和基地付近の定着氷縁 (合成開口レーダー画像)



4/12

4/19

4/21

4/24

昭和

オングルカルベン

弁天島

10月中旬時点で
オングル海峡
は安定している。

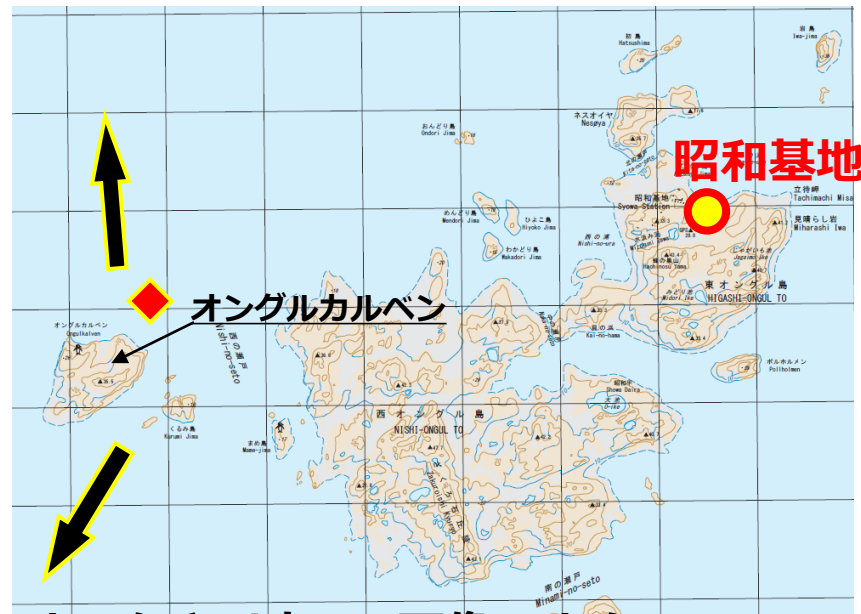
4月19日以降、
定着氷の割れ
込みが進行。
10月中旬時点
で氷縁西端に
変化は認めら
れない。

昭和基地西方の定着氷の割れ込み

(4月25日、63次越冬隊撮影)



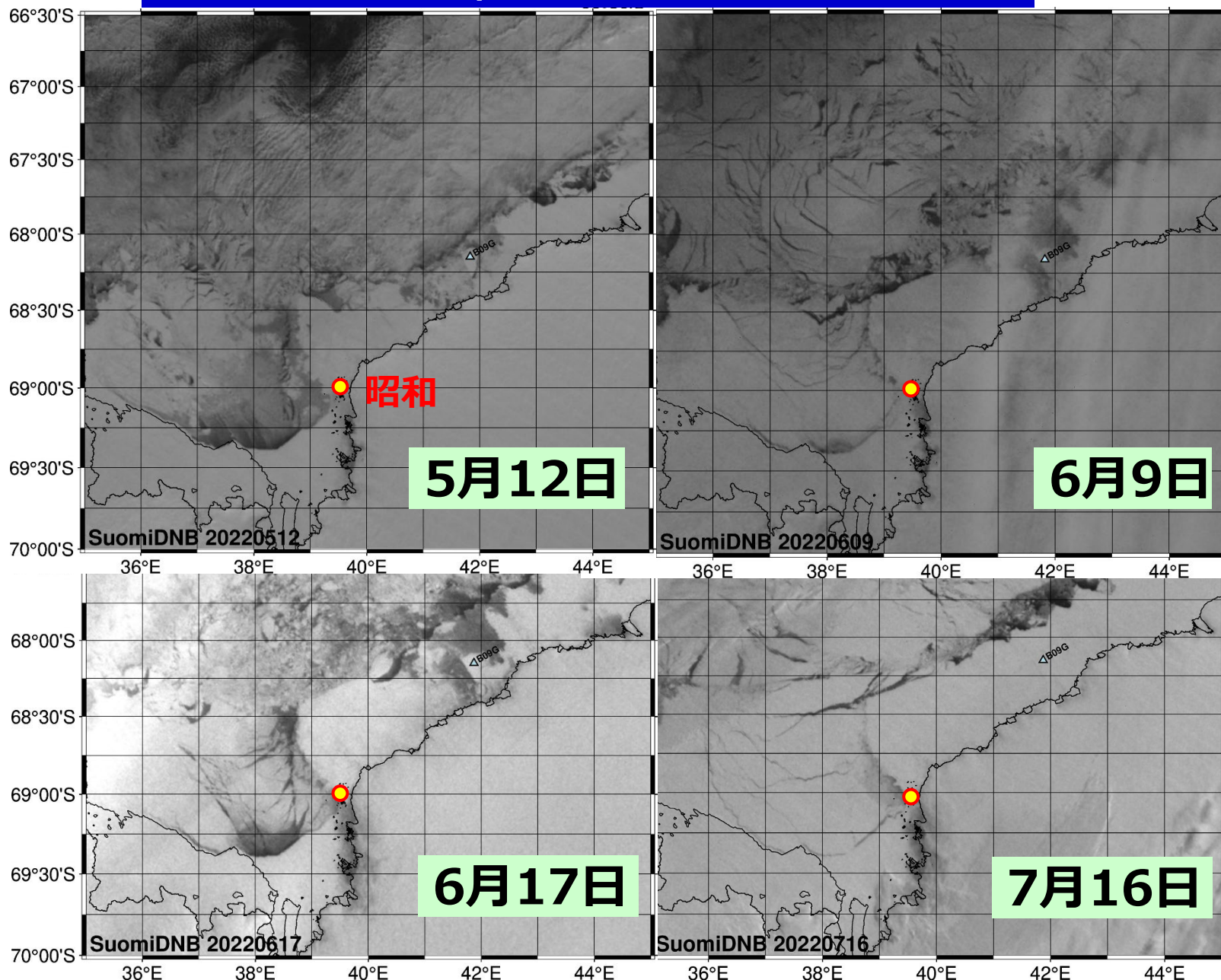
オングルカルベン北方から
無人航空機にて撮影



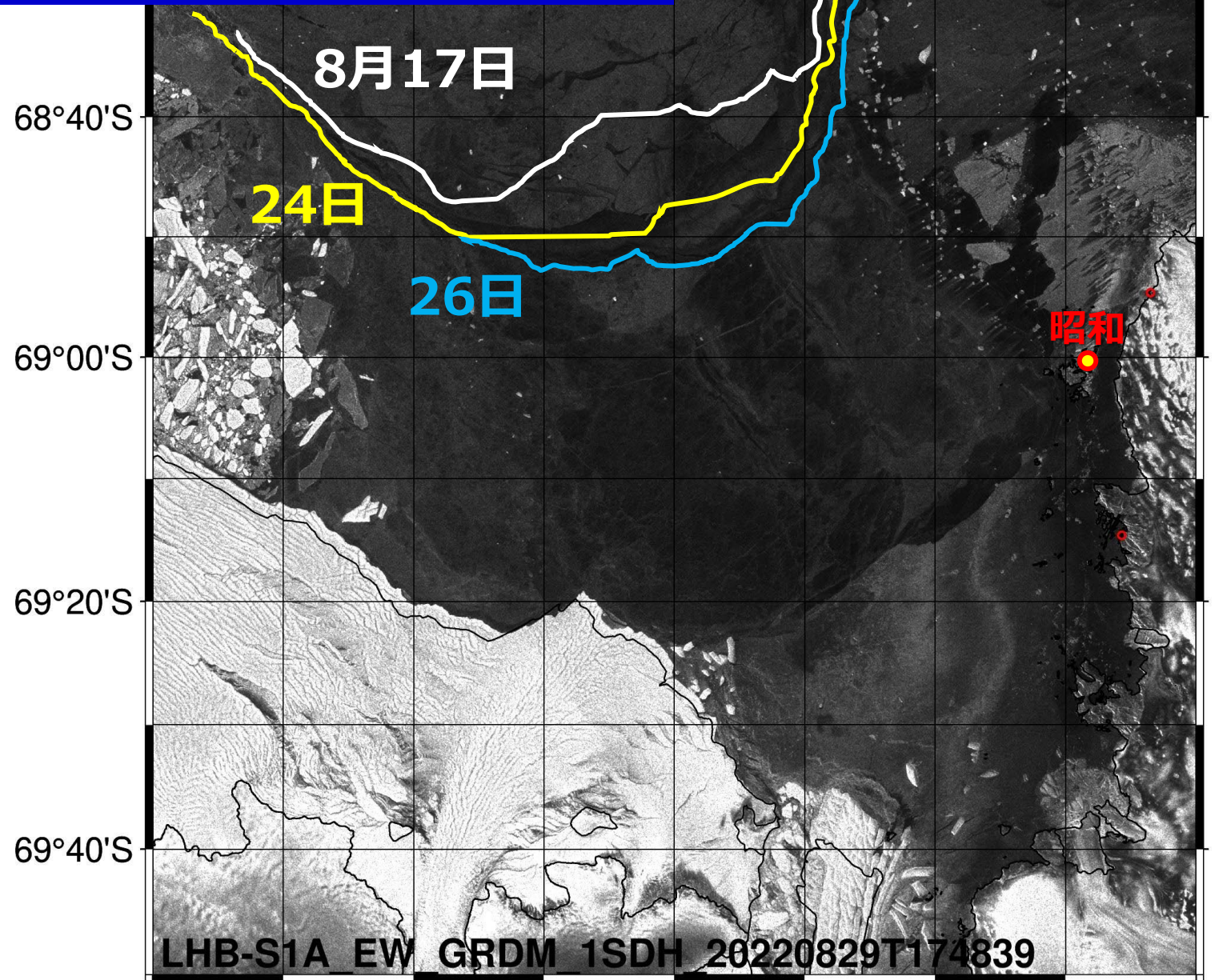
太い矢印は左の2画像の方向

2022年5-7月の湾内定着氷の変化

画像上で濃い灰色部分は開水面または氷が疎らな海域



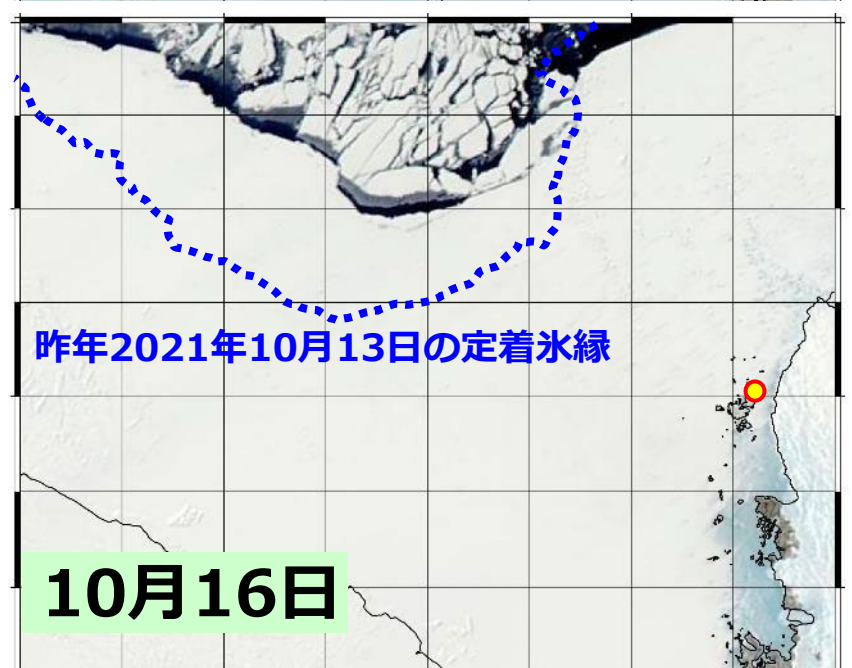
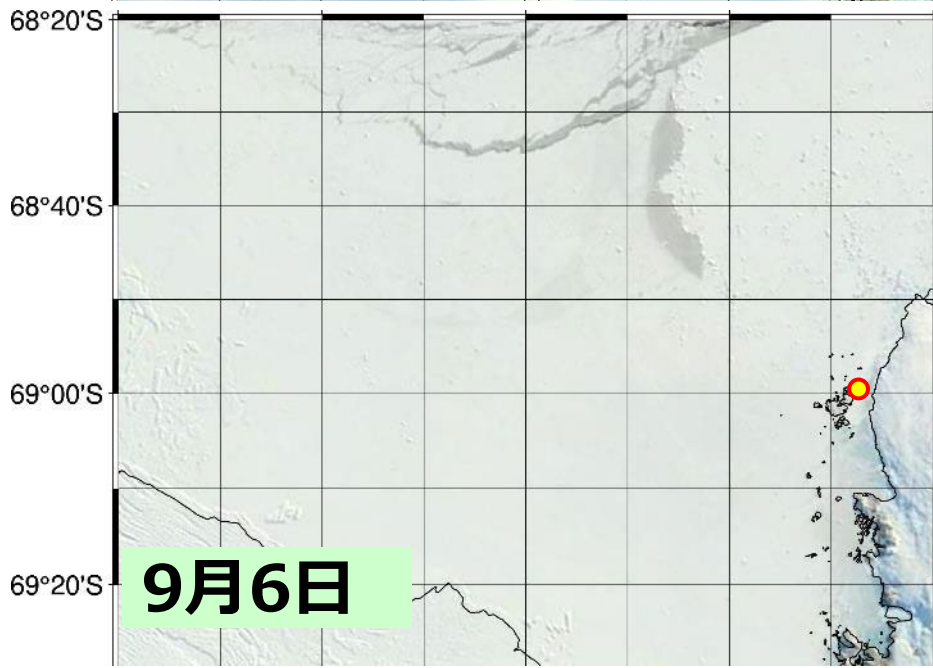
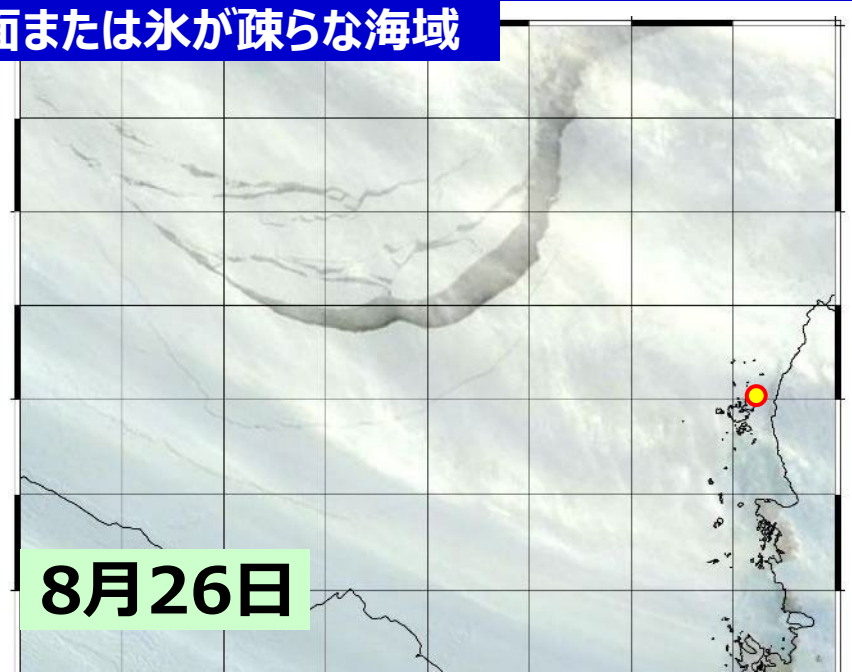
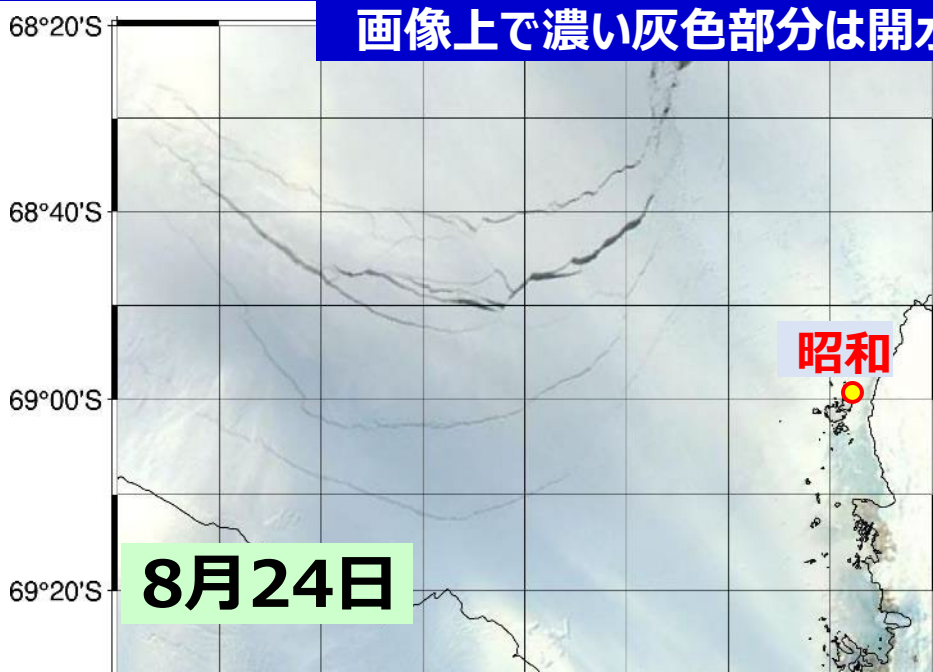
2022年8月の湾内定着氷縁 (合成開口レーダー画像)



LHB-S1A EW GRDM 1SDH 20220829T174839

2022年8-10月の湾内定着氷の変化

画像上で濃い灰色部分は開水面または氷が疎らな海域



オングル海峡の氷厚・積雪深 (63次越冬隊計測)

🚩 4月6日

◆ 10月15日

